

地域の概要

1. 基礎データ

会津美里町
 人口:18,386人
 (R6.4.1現在・住民基本台帳)
 面積:27,633平方キロメートル
 過疎地域等指定(会津美里町)
 山村(旧高田町)
 高齢化率:41.7%
 交通会議開催数:3回
 (R6.5 ~ R6.12)

2. 公共交通の概況

【乗合バス】

①路線バス

運行:会津乗合自動車(株)、路線:3路線3系統

②スクールバス

運行:会津美里振興公社、(株)会津西交通、イズミ交通
 路線:20コース

③病院送迎バス

運行:会津中央病院、路線:1路線(乗降場所1か所)

【鉄道】

運行:東日本旅客鉄道(株)、路線:在来線1路線(只見線)

【乗合タクシー】

運行:タクシー事業者1社、エリア:町内全域

高齢化や町の財政負担の軽減等の課題や近隣市町村との連携、交通資源を活用した効率的な地域公共交通体系の構築など、現計画策定当初より問題となっていた課題に加え、令和4年11月に導入したデマンド交通配車システムによる運行方法をより効率的かつ需要に応じたものに見直す必要性や、現状の交通体系を踏まえた上での町民ニーズなど、本町の公共交通を取り巻く環境は日々変化している。現状を把握しより財政的に効率かつ町民ニーズに合った運行方法を検討する必要がある。

3. 公共交通の問題点

(1)広域路線(バス・鉄道)の利用者確保 活発な生活行動(通院・通学など)を支援するためには予約不要かつ適切な頻度で周辺自治体間を運行する「広域路線(バス・鉄道)の維持」が必要不可欠。限られた交通資源の中で「利便性の向上」や「新たなニーズの確保」に取り組んできたものの、利用は伸び悩んでおり、さらなる利用者確保に向けた検討が必要。

(2)美里あいあいタクシーのサービスの磨き上げ 「美里あいあいタクシー」はサービスレベル(運行時間・乗降地など)の高さから、利用者から高評価を得ている一方、路線バスとの接続が不完全。また、限られた車両台数によって対応していることから利用者の待ち時間も増加しており、「サービスレベル」や「人手不足の解消」など今後も磨き上げが必要となる。

(3)公共交通利用に関する情報提供の充実化 「網羅的な情報提供の場の不足」や「より効果的な活用方法の不足」等により利用に繋がっていないため、今まで利用していなかった方にも「利用できそう」と思ってもらいたくために情報提供を充実化する必要がある。

(4)公共交通を守り支える意識の醸成 町民の多くが自家用車を保有する中、今後も公共交通を維持していくためには、公共交通は「いつか」ではなく「今から」利用できる手段だという認識の切替えが重要となる。町民に対して「公共交通の必要性」などを呼びかけることで、公共交通を守り支える意識の醸成が必要。

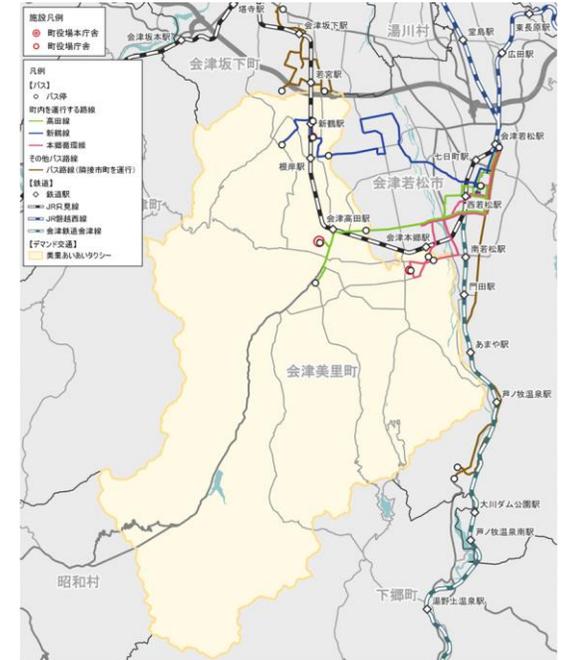


図 町内を運行する公共交通

調査内容

【事業評価時点で完了している内容】

- (1) 地域特性分析
- (2) 公共交通の実態の整理
- (3) 各種調査の実施
- (4) 現行計画の検証
- (5) 公共交通の問題点・課題点の整理
- (6) 課題を踏まえた基本方針の検討
- (7) 地域公共交通会議の開催(3回)

【今後予定している内容】

- (7) 地域公共交通会議の開催(残り1回)

調査結果概要

(1) 地域特性分析

- ・ 総人口は一貫して減少傾向。一般世帯数が年々減少する一方、65歳以上の単独世帯数は増加傾向。

(2) 公共交通の実態の整理

- ・ 通勤・通学は会津若松市への移動が多い。買い物・通院は半数以上が町内の移動であるが、新鶴地域は町外への移動が多い。

(3) 各種調査の実施

① 町民アンケート調査結果(1,500票

配布、601票回収(回収率・40.1%)

- ・ 鉄道の利用目的は通学が多く、路線バスの利用目的は通院が多い。
- ・ デマンド交通への評価は高いが、鉄道、路線バスは満足度が低い一方重要度は高い。

② 高校生アンケート調査結果(287

票配布79票回収(回収率・27.5%)

③ 高校生保護者アンケート調査結果(287票配布91票回収(回収率

- ・ 悪天候時等は多くの保護者が送迎を行っている。
- ・ 送迎をしてる保護者の8割が負担に感じている。

③ 美里あいあいタクシー利用者アンケート調査結果(861票配布397

票回収(回収率・46.1%)

- ・ 回答者の2割はサービスに不満がある(主に運行時間、町外目的地)。

④ 交通事業者アンケート・ヒアリング調査結果

- ・ 人材不足に対応した運行を検討
- ・ 物価高騰・人材不足に対する事業者支援をしてほしい。

⑤ 庁内関係者アンケート・ヒアリング調査

- ・ 観光客からはバスや鉄道の本数が少ないという意見がある。
- ・ デマンド交通をこどもの送迎等に活用できないか。

⑥ 町民意見交換会(22名参加)

- ・ 乗り方がわからず不安なため、乗り方教室の企画や案内の工夫をしてほしい。
- ・ イベント開催者と交通の連携が必要

(4) 現行計画の検証

- ・ 路線バス及び美里あいあいタクシー利用者数、交通拠点乗降者数、町負担額については改善が見られず目標を達成していない。

- (5) 公共交通の問題点・課題点の整理
- (6) 課題を踏まえた基本方針の検討

<課題等>

- ・ 広域路線(バス・鉄道)を維持するため、利用者確保が必要である
- ・ 美里あいあいタクシーのサービスの磨き上げが必要である
- ・ 公共交通利用に関する情報提供の充実化が必要である
- ・ 公共交通を守り支える意識の醸成が必要である

<基本的な方針>(案)

方針①:

町民の生活と交流を支える地域公共交通の構築

方針②:

利用者ニーズに合わせた便利で快適な地域公共交通の構築

方針③:

まちづくりと連動した地域公共交通の構築

方針④:

将来にわたり持続可能な地域公共交通の構築

<目標>(案)

目標①: 町内を運行する公共交通の1人当たりの年間平均利用回数

目標②: 交通拠点における年間総利用者数

目標③: 多様な分野主体と連携した利用促進の取組件数

目標④: 公共交通の運行に関する町負担額の維持

(7) 地域公共交通会議の開催(3回)

第1回 今後のスケジュールの共有

第2~3回 各種調査結果報告、基本方針、基本目標、骨子案の検討

今後の取組みについて

【スケジュール(予定)】

○令和7年以降

○2月下旬

第4回地域公共交通会議開催

公共交通計画素案の決定

(1) 施策の検討

(2) 施策の事業化

(3) 公共交通会議開催(3~4回)

(4) パブリックコメント

(5) 計画のとりまとめ

【地域の交通の目指す姿】

利用者の意見や需要を踏まえ、基本方針の実現に向けた施策を事業者及び関係機関と協議・検討し、地域公共交通網の形成・再編を検討する。

その上で、地域公共交通確保維持改善事業の活用を検討する。